

8. 「おきなわの名木」100選の認定で、「多良間の名木」は10本指定を受ける

沖縄県は平成14年から、ふるさとの貴重な樹木を名木として認定することで、樹木の適切な保護管理に努め、地域の活性化に繋げることを目的とした「おきなわの名木」100選の認定をおこなっている。多良間の名木は10本が指定を受けている。これも先人達から樹木を植栽・維持して守り続けてきた賜物である。一例を示す。

運城ウタキのフクギ（名木認定番号083）

アマガーの西側を北に向かう道路は、多良間の民謡「タラマシユンカニ」に唄われているマイドウマリ[®]道。この道の左手に運城ウタキがある。ウタキを取り巻くように植物群落があるが、ウタキに続く参道にはフクギの大木が林立している。その中でウタキの近くの一際大きなフクギが認定木である。認定番号083。樹高8m。胸高幹周2.1m。推定樹齢400年。



運城ウタキのフクギ並木



運城ウタキのフクギ

一帯の森は沖縄県指定の植物群落、ウタキは史跡文化財として村指定されている。

